

福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

RI 2015-16 のテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16 RI 会長
K.R. ラビンドラン

本日の
プログラム

・会長スピーチ「少子化と子どもの成長」
・新会員スピーチ

株式会社福島民報社 代表取締役社長

高橋 雅行 会員

会長あいさつ

第15回会長挨拶

幡 研一 会長



本日は小原 敏様を新会員として迎えることができました。これで、本日現在の会員数は89名となりました。今後更なる新会員のご紹介をお願い申し上げます。

さて、私は産婦人科医ですので、日頃「命のつながり」について考える機会が良くあります。妊婦健診を受けている妊婦さんから「私は先生に取り上げてもらいました。母子手帳に先生の名前が書いてありました」ということを良く聞きます。そのとき一番に感じることは、「元気でここまで育ててくれてよかったなあ」と思うと同時に、元気な子供を産んで欲しいという気持ちです。

「私のお産にも先生が立ち会って下さい」と言われたときは産婦人科医としての喜びを感じます。

子宮筋腫で手術をした方の子どもの出産、孫の出産にも立ち会ったこともあります。今年は2人目のひ孫の出産のため、1人目のひ孫を抱いて、孫の妊婦健診に連れ添ってきていました。命のリレーです。大分前に福島RCの会員のたまり場になっていた飲み屋のママさんです。

心身共に健康に育ち、次世代の子どもを産み育てるということは、当たり前のように思われますが、現在の社会では大変なことと思います。幼児期・学童期・思春期・青年期を経て、社会人として自立し、結婚して出産育児をするまでの間には、相当の試練があり数代にわたる命のリレーは奇跡とも言えます。

本日のプログラムは、福島民報社代表取締役の高橋雅行会員の「新会員スピーチ」と私のスピーチです。宜しくお願い致します。

新会員入会式

福島東稜高等学校 理事長・校長

おばら さとし
小原 敏 様
(紹介…日比野恒夫 会員)



例会次第

開会点鐘 幡 研一 会長

ロータリーソング「それこそロータリー」
ソングリーダー 轟丸直久 会員

お隣の方と〈好意と友情〉の握手
お客様並びに来訪ロータリアン紹介

●新会員入会式

会長あいさつ 幡 研一 会長

食 事

幹事報告 箱岩 偉 幹事

各委員会報告

●プログラム・ニコニコBOX小委員会

11月プログラムご案内/ニコニコBOX

佐藤武彦 委員長

◎本日のプログラム

閉会点鐘 幡 研一 会長

幹 事 報 告

例会変更のお知らせ

●福島北RC、27日の例会は31日(土) 猪苗代湖水草除去作業に変更しておりますのでお知らせします。

その他のお知らせ

●11月15日(日) 地区大会参加予定の方にお知らせをしております。変更等ありましたら連絡をお願い致します。

例会プログラムのご案内

11月5日(木)

12:30 ~ 辰巳屋

○新会員スピーチ

SMBC日興証券福島支店長 轟丸直久 会員

* 誕生祝い * 「四つのテスト」 唱和

* 「指名委員会」 18:00 (石林)

(歴代会長を以て構成され、次年度の役員・理事の指名を行います)

* 11月理事会 18:00 (石林)

11月12日(木)

12:30 ~ 辰巳屋

○「R財団月間にちなんで」 右近八郎ロータリー財団委員長

○新会員スピーチ 三井生命保険(株) 茂木正志 会員

* 「友」紹介(丹羽和也 会員)

* 「血圧測定」 * プログラムご案内

11月19日(木) → 15日(日) に変更

「RI第2530地区 地区大会」

南相馬市文化会館「ゆめはっと」 ※後日詳細

11月26日(木)

12:30 ~ 辰巳屋

○地区大会報告 表彰伝達

○「私の一言」スピーチ 日比野恒夫 会員

本日のプログラム①

会長スピーチ「少子化と子どもの成長」

幡 研一 会長



以前、例会の挨拶で「子どもたちに我々は何を残すべきか、子どもたちが今真に必要なことは何か」について児童憲章の話をしたのですが、現在の子どもたちを取り巻く**社会背景と子どもの成長**について多少話をさせていただきます。

現在のような**少子高齢化が、社会に与える影響**という、現役世代の経済負担の増大や生産年齢人口の減少や高齢化に伴う生産性の低下など**経済的な影響**が一番に言われますが、私は「**子どもの社会性が育たないこと**」が将来を考えると最も重要で大きな影響と思います。また、それに対しては我々ロータリアンも何かは力になれることがあるように思われます。

現代では**幼児期、0歳から、保育園や幼稚園に預けられる**ことが多く、親が送り迎えをします。**地域での遊びは殆ど見られません。生まれたばかりの赤ちゃんは全くの無垢です。それが団体生活に入ってうまく適応できない**とその子はスポイルされます。やがていじめや悪事を行うようになります。その子は「悪い子」のレッテルを貼られます。もともとは何も悪くないのです。

次に**少子化に伴う子どもの生活の変化**を考えてみます。私たちが子どもの頃は学校から帰ると地域で暗くなるまで子ども同士で遊びました。**ガキ大将がいて、何となく世の中のルールを教えてくださいました。**1日の生活は、**学校・地域・家庭が夫々3分の1**ずつでした。現在の子どもたちはクラブ活動や塾が無いと、学校から帰ると部屋にこもり、ゲームをしたり、テレビを見たり、1人で過ごしていることが多くなっています。町の路地裏や広場でボールを蹴ったり、野球に興じている姿は見られなくなりました。**子ども同士の触れ合いの機会が減少し、社会性が育たないまま成長し、**一方で情報は否応なしに入ってきます。善し悪しの判断ができないまま情報に振り回され、相談する友達や先輩もいないまま行動に走ります。友達同士の触れ合いも、面と向かっての話し合いは少なくなり、携帯での連絡、メールでのやり取りと気持ちのこもらない触れ合いとなりました。リストカットの流行や薬物乱用、性行動の低年齢化、更にはいじめや自殺などの悲しい出来事も、そのような社会環境の変化が影響を与えていると思われま

す。少子化と共に子どもの生活に影響を与えているものに、**個人情報保護法案**があります。学校の児童・生徒の名簿はありません。マンションでは、隣に住んでいる人の職業や、家族構成も知りません。「隣は何をする人ぞ」なのです。1人暮らしのお年寄りが、具合が悪くなって、110番を呼んでも、救急隊は部屋に入れません。

ん。管理人は鍵を預かっていないのです。

昔は親が用事で出かけるときは、隣のおじさん・おばさんをお願いして子供を見てもらいました。悪いことをすればおじさん・おばさんは子どもを叱りました。現代では、このように**地域が子供を育てる機能は全く無くなりました。子ども同士のけんかは見られず、陰湿ないじめが増えました。ガキ大将という言葉も時代の流れと共に無くなること**と思います。

このように少子化は子どもの発育に多くの影響を与えています。実際に少子化がどの程度進んでいるのかと言いますと、わが国の出生数は、第2次ベビーブーム期の昭和40年代後半には、年間200万人を超える子供が誕生しましたが、**2014年の出生数は100万3,532人と過去最少、年間の自然増減数も26万8000人の自然減と過去最大の減少幅**となるなど、我が国の少子化の進行、人口減少は深刻さを増しています。併せて進行する高齢化により、2060年には高齢化率が4割に達すると推計されています。

◇出生率9年ぶりに低下

2014年の合計特殊出生率は1.42で、前年を0.01ポイント下回りました。前年を下回ったのは過去最低だった2005年(1.26)以来9年ぶりです。(厚労省発表：人口動態統計)

◇**合計特殊出生率**：1人の女性が生涯に産む子どもの数
因みに現在の日本における死亡の水準を前提とした場合、合計特殊出生率の人口置換水準は、概ね2.07となっております。

◇**人口置換水準**：その国の人口を維持できる最低の出生の水準

わが国の出生率は1974年以降、30年以上もの間、人口置換水準を下回りながら低下を続けております。

福島県の合計特殊出生率は前年より0.05ポイント高い1.58で、全国9位、東日本では1位の高水準、全国一の伸び率でありました。福島県は東日本大震災に伴う原発事故の影響で県外への避難住民が増えました。ただ震災後に**18歳以下の子どもの医療費を無料**にするなど、子育て支援対策を重点的に打ち出しております。

青森県の出生率は1.42で13年比0.02ポイント上昇しました。前年比プラスは2年連続、同県では民間レベルでの子育て支援環境づくりの取り組みが盛んで、青森銀行は出産・育児などで退職した女性行員を再雇用する制度を導入。みちのく銀行も16年4月に育児中の行員や子会社社員の子どもの預かる保育施設を市内に開設します。ただ、青森県の出生数は8,853人で過去最低を更新しました。

少子化の原因と、我々のできる対応については次回にお話し致します。

新会員スピーチ

株式会社福島民報社 代表取締役社長 高橋 雅行 会員



7月に入会を承認され仲間入りいたしました。改めて御礼を申し上げます。なかなか例会ごとに出席かなわず心苦しい思いをしている中で、新入会のスピーチをというお話をいただきました。ありがたく機会をいただいたことに、これも御礼申し上げたいと思います。

私も小原さんと同じく昭和28年の生まれです。ロータリーの誕生が昭和26年ですので、クラブが誕生して2年後に生まれた世代になるわけです。

入会の際にも経歴紹介いただきましたが、私は県内外で転勤をしてきました。初めて在籍したのが昭和61年、会津坂下のロータリークラブでありました。まだ32歳で当時は青年会議所にも一緒に入っており、町の商工会でも活動しておりましたので今思えばよく仕事していたものだと思うくらい、外で様々な活動を楽しんでおりました。

その後また時を経て、会津若松のロータリークラブに在籍しましたが、初めてクラブに参加し「4つのテスト」を聞いた時にはまさしくこれこそ報道人が肝に銘じておくべき言葉だなと、とりわけ最初の2つ、「真実かどうか」「公平かどうか」ということ、この2つは、今でも処世訓にしているつもりであります。

残りの「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるか」ということは強弱をつけて申し訳ございませんが、震災を経験した後でより強く意識をするようになった項目です。この4つの言葉そのものが私の思いと、会社でも表現を変えながら伝えておりこれからもずっと持ち続けたいと思っています。

実は本日はあまり準備の無いままこのスピーチの場に立っておりますが、大きなテーマとしては「福島県を元気に」と考えておりました。幡会長から良いお話を頂戴し、まさにそのようなお話が良いかと感じたところです。やはり子供の数、これは福島県だけではなく国を支える力です。これを置いて他にはないと常々思っています。

その対策として、どうしたら子供が増えるのかと国や県、地方もいろいろと考えていますが、お医者さんのように、それこそ注射を打って良くなるような特効薬はありませんし、一発大逆転の満塁ホームランもありません。様々なアプローチでこれからは民間人も、公的な立場の方も取り組んでいくこととなります。

福島県は平成の大合併を経て90市町村から現在59の市町村になりました。内訳は市と呼ばれるところがかつて10市でしたが、13市になりました。町が31、村

が15であります。

とりわけ町や村よりも市の方が比較的人口は多いですし、町の形成もにぎやかだというのが一般論であります。13市といっても自治体数の2割強になるわけですが、県内全域では面積的には4割しかなく6割は町と村で占めています。その4割の土地にどれだけの県内の人口がいるかと言うと、およそ8割の人口が面積4割しかない13市に住んでいます。「一極」とまではいかなくとも福島県もれっきとした「市部集中」なのです。

私は県政担当の記者時代が長く、「東京一極集中」それを是正すべきと書いてきましたし、県の要望等も取材をして同様の目線で書いてきましたが、こういう風になってくると「東京一極集中」はどうでもいいことで、むしろ首都は首都で元気でいいのではないかと、もっと足元を見て、この13市に人口の8割がいるという、福島県でも人口居住の偏在が起きているというのが注目すべき点で、またその一方で面積が6割もあり自然資源、地域の文化的な資源がたくさんある土地がなんとなくさびれていくばかりという問題があります。しかしまだまだ諦める必要はなく、とりわけこの福島市、そしてこの福島ロータリークラブでもこれだけメンバーが揃って人数もたくさんおられて、どれだけ市が県の活性化の役に立っていけるかが、これからの福島県を元気にする鍵ではないかと思っています。

会津での勤務を経験してきて一番感じたことは、「お医者さんがいないこと」です。

私には子供が3人おり、3番目は支局時代に生まれました。会津坂下厚生病院というところで当時は河沼郡、大沼郡、南会津郡含めて産婦人科の先生はその病院に1人しかおられませんでした。私の女房がちょっとお産が近づいてきたということで入院をしたら、同じ部屋に同じくらいの年齢のご婦人がいらっしました。とても今すぐ生まれそうな様子ではなく元気に数日間は動き回っているもので、女房に「あの人は？」と聞くとやはり同じ出産だけど会津の奥の方なので産気づいてから移動が困難なため、ざっと1週間ほど前から来ているとのこと。福島と比べれば坂下は大変だなと思っていましたが、それよりも大変な医療過疎地域があるんだなとしみじみ実感したわけです。現在も厚生病院に産婦人科の先生はおらず、あの広い会津でも産婦人科の先生は会津若松と喜多方だけ、ということは里帰り出産もなかなかできないわけですね。

もちろんそれは人の配置、お医者さんの配置、機械的な対処など難しいことではあるのですが、何らかの方法で目配りしていただいて、例えば医療面でも会津の奥の方などをサポートできれば、居住環境も向上し、「住んでみたい」という意識も上がると確信しております。常駐とはいかなくとも、週に何日か手厚く、というだけでも随分違うかなと思います。

本日は会長から良いお話をお聞きしたので人口の観

点からお話をしましたが、他の分野に関しても、基盤がしっかりある市の企業等の力量と経験、ノウハウと人的パワーを存分に活かしてもらえたらと考えております。

私はボランティアですとか、奉仕の精神だけではなく、あくまでビジネスとして考えていただくのも良いかと考えます。ここ辰巳屋さんのような素晴らしいホールですら町や村にはそうあるものではありません。何かにぎわいの機会を作って、またそのような場を作っていただいて、辰巳屋さんの腕の良いコックさんに赴いていただくというのも、例えば「にぎわいづくり」になるかなと思います。それも奉仕ではなくてビジネスとして考えていただけたらなと、身近な話題だけで言いますとそんな思いでいるところです。

ここからは少々私見ということになりますが、私はやはり他の地方も同じように市なり都市への人口の偏在は同じようにあるんだと思います。それをどのように解消していくんだらうという時に、私は農業、一次産業に尽きると思っております。林業も水産も含めてですが、福島県も会津の方あるいは阿武隈山地の様な所だと1つの自治体の8割から9割または9割以上は林地、山地という町村が多くあります。

山の資源は豊富です。日本は木材が高いから海外から、というのは定説のようですが、最近木材価格も十分変化しています。日本産と海外産とで大きな違いはなくなってきました。使える木材も沢山ありまして、日本国内での需要量を1年間で100とすると現在国内で木材は120～130の量を伐採出来るんですね。

つまり国内で使った分に加えて、輸出までできるだけの量がある、それなのに使われていない。使われないと山は荒れます。荒れると木が枯れます。木が枯れると山の力が弱ってきます。大雨に耐えられなくなります。土砂崩れ等の災害も増えてきます。このように悪い方へ悪い方へ循環していきます。これを何らかのバックアップも含めて、使えるように、できるだけ産業として再び資源が活かされてくると居住環境の向上にもつながります。産業があると人が住む、人が住めば子供も自然に生まれてくるとそういう循環になっていって欲しいと考えています。

木材も裸の木を使うのではなく、今は良い集積材でCLTというとても素晴らしい技術がありまして、これから県もその工場を県内に建設することになりました。これはあまり材質を問わずどんな木でも使えるという技術で、建築基準法上は8階から9階建てくらいまではそれで作れるというものです。すでに建築されたものも国内にあります、その工場を建てるのに莫大な経費が掛かることもあり、まだ岡山県にしかないということです。これが福島県にできれば、隣県からも含めて様々な木材を集めて新しい資材を作り、それを使って、マイホームや学校、役所の建築でも活かせるようになると期待をしており、出来る限り応援していきたいと思っています。

また別の分野で言いますと、福島県復興が第一の目標ですが、残念ながら人口については震災前から210万をピークに1万人づつ毎年減っているところに震災が起きました。ですから復興という名前だけの対策では福島県が元気を取りもどすのは無理だと私は思っております。復興という意識を含めながら「県内隅々まで元気に」という想いが大事で、最後は「心の拠り所を強くする」ことこそ復興であり福島を元気にする源かと、私はそういう意味で文化は大事だし、そしてもう1つにはスポーツも大事であると思っております。プロスポーツは県内で鈴木社長、後藤会長の福島ユナイテッドはじめ、野球やバスケットも誕生しました。アマチュアスポーツも盛んでこれからオリンピックに向けて選手が育ってくればという夢を抱いています。スポーツのみならず、心の豊かさ、充実、強さを求めていくのが復興であり、福島県を元気にする拠り所かなと思っております。

これまでのロータリー在籍経験と、仕事で他のクラブの方やライオンズクラブの方ともお付き合いさせていただきましたが、この福島クラブほどメンバーや職種、人数的な面で充実したクラブは早々ないなと改めて思っております。毎回のように参加できない申し訳なさを感じながらも、これからもご一緒させていただけたらありがたいと思っております。つたない話になりましたがご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX報告 (報告)佐藤 武彦 委員長

本日のニコニコBOX投入額 25件 **¥48,000** 累計 **¥881,000**

高橋 雅行 会員

出席では優等生でないにもかかわらず、スピーチの機会をたまわり恐縮に存じます。これから寒さの増す季節です、皆様お体を大切にしてください。

幡 研一 会長

小原 敏様の入会を大歓迎致します。高橋雅行会員のスピーチ楽しみにお聞きます。少子化社会と子どもの成長について話させていただきます。

箱岩 偉 幹事

皆様のご出席に感謝して。小原 敏様のご入会を心から歓迎致します。高橋雅行会員のスピーチを楽しみにしております。

清水 義之 会員

急に冷え込んできました。体調管理には気をつけましょう!

安藤 錬雄 会員

東陵高 小原理事長のデビューを歓迎して。

他に／白岩康夫会員／野原邦亮会員／有田吉弘会員／菅野晴隆会員／門脇 渉会員／信国一朗会員／霧丸直久会員／浦部 博会員／児玉健夫会員／古俣 猛会員／丹治正博会員／安藤健次郎会員／茂田士郎会員／佐藤英典会員／加藤義朋会員／佐藤朋幸会員／森岡幸江会員／藤井高志会員／佐藤武彦会員